

堂谷津の里から

新しい年を迎え、2025年の活動がスタートしました。堂谷津の里では、雨が降る日がほとんどない中で、冬期湛水の田にアカガエルの卵塊が見られるようになってきました。

一方、山林ではコウモリガ（コラム参照）による被害が発見され、現在、調査を進めているところです。また、千葉市の支援により山林の整備・堂谷津の池の倒木撤去が行われましたが、自然共生サイト認定を機に企業等からの支援も寄せられています。今回、その状況について報告します。堂谷津の里はこれから春へと向かいます。春の訪れを一緒に実感しましょう。



木に穴を開けたのは誰だ

昨年初冬、木々の幹の地際近くに見つけた異様な塊は、コウモリガというガの幼虫が幹に穿孔していたサインでした。コウモリガは、チョウ目コウモリガ科の大型のガであり、前脚・中脚が発達しており、昼間は動かずにぶら下がってとまる姿がその名の由来であるようです。

調べてみると、コウモリガは卵で越冬し、4月中旬に孵化した幼虫は草の茎に潜り、ヨモギやイタドリなどの草を食べてある程度成長してから、6～7月に樹木に移動するとのこと。また、環境としては草地と木が存在することが重要であり、また対象となる木の種類を選ばない多犯性でもあるようです。幼虫は、幹の地際よりも高い場所に穴を開け、幹の中に垂直に坑道を掘って、入口を木くずや糞の塊で塞ぎます。この塊を取り除くと大きな穴が開いているのが見られます（写真）。また、樹皮下をぐりと穿孔することもあります。8月上旬頃、穴を糸で塞いで蛹になり、夏から初秋に成虫となって夕暮れ時に飛び回り、交尾を行います。雌は夕方、平均で約5000個もの粒状黒色の卵を、飛翔しながら草の中へばら撒くように産卵します。この里山の木々を調べるとガに穴を開けられた木が複数本見つかりました。里山を維持するために木々の状態を調査し、対策を考えています。調査結果は随時ご報告します。（橋本ル）



報告

企業等の支援について

2024年3月に堂谷津の里が環境省の自然共生サイトに認定され、注目を浴びるようになり、それ以来各種の組織や団体から視察にお越しいただくようになりました。

一方、企業等からもこのような里山での環境保全活動をしたいという依頼や希望が寄せられてきております。

昨年7月には千葉県緑化推進委員会及びちば里山センターの仲介で株式会社ナスタ様の社員10名が下草刈り作業に参加くださいました。また11月には日本自然保護協会の仲介で三井化学株式会社様の社員及びその家族12名が竹の切り出し作業などに参加くださいました。

環境省も自然共生サイトの維持や拡大に向けて支援（金銭的・人的・技術的支援等）を希望する団体等と企業等とのマッチング制度を構築しており、ウェブサイトを通じて活動支援を希望する企業からお声をかけていただいて現在調整中です。

また、金銭的支援については、日本森林文化協会の仲介で中川装身具工業株式会社様が里山整備費を5年間にわたり支援していただくことになりました。

企業等の立場からすればいわゆる社会貢献活動（CSR）の一環であり、活動に参加した社員等の方々にとっては良い体験になったとの感想もいただいております。

バランス21としては堂谷津の里の整備・保全活動が継続され、地域や社会の中で定着し、さらには拡大されていくことを願っており、市民団体だけではなく企業等の参加は一步先に進める良い機会だと考えています。

なお、中川装身具工業株式会社様から支援について企業PRの看板の設置を希望されており、近々谷当里山パークに設置される予定になっております。

【支援活動の様子】

【企業看板】



足踏み脱穀作業



竹の切り出し作業



<情報コーナー>

3月1日は里山開放日です。観賞炭（花炭）作り、残り火で焼き芋その他のおやつ作りを行います。また、「親子で米づくりと自然の体験」の募集が始まります。（募集期間：3/1~3/31）今年も、多くの皆さんと一緒に活動することを楽しみにしています。

NPO 法人バランス 21

E-mail :yatosatoyama@gmail.com

URL :<https://www.balance21-yato.com/>

連絡先：千葉県若葉区谷当町 70

TEL&FAX:043-239-0645（現地）